

神のご臨在、モーセの願い、そして私たちの旅路（出エジプト記 33:12-19）

中心聖句：出エジプト33:14-15

33:14 すると主は仰せられた。「わたし自身がいっしょに行って、あなたを休ませよう。」

33:15 それでモーセは申し上げた。「もし、あなたご自身がいっしょにおいでにならないなら、私たちをここから上らせないでください。」

導入

人生は旅路です。

フランスの哲学者であり、イエズス会の司祭であったピエール・テイヤール・ド・シャルダン
は、私たちの人生の旅路をこのように描写しました。

我々は精神的な経験を達成しようとしている人間ではない。我々は人間の経験を持つ精神的な
生き物である。

私たちの人生の旅路には、大小さまざまな出来事が起こります。私たちクリスチャンは、どの
ような経験も神にとって大切であるという確信に安らぎを得ます。人生楽しい時も辛い時もあり
ますが、それもまた神にとって大切です。

これらの真理は、何千年も前に生きたモーセにとっても真理でした。

聖書は、モーセが謙虚な人だったと語ります。モーセは常に神と交わり、神のご臨在を求めま
した。モーセというひとりの偉大な男は、不完全な人間でありながら、あらゆる場面で神への
信頼と従順を示しました。これは私たちにとって倣うべきよい模範と言えるでしょう。旧約聖
書のいたる個所から、モーセがいつも神と語り合っていたことがわかります。「主は仰せられ
た・・・モーセは答えた」といった具合です。彼は常に、神のご臨在の中にいることを求めま
した。

では、今日の聖書箇所、出エジプト 33:12-19 を読みましょう。モーセの模範に倣い、私たちの
生活に当てはめて学ぶべきことを見つけましょう。

出エジプト 33:12-19 モーセと主の栄光

33:12 さて、モーセは【主】に申し上げた。「ご覧ください。あなたは私に、『この民を連れて
上れ』と仰せになります。しかし、だれを私といっしょに遣わすかを知らせてくださいません。
しかも、あなたご自身で、『わたしは、あなたを名ざして選び出した。あなたは特にわたしの
心にかなっている』と仰せになりました。 33:13 今、もしも、私があなのお心にかなっている
のでしたら、どうか、あなたの道を教えてください。そうすれば、私はあなたを知ることが
でき、あなたのお心にかなうようになれるでしょう。この国民があなのお心にかなうことをお心
に留めてください。」 33:14 すると主は仰せられた。「わたし自身がいっしょに行って、あな

たを休ませよう。」 33:15 それでモーセは申し上げた。「もし、あなたご自身がいっしょにおいでにならないなら、私たちをここから上らせないでください。 33:16 私とあなたの民とが、あなたのお心にかなっていることは、いったい何によって知られるのでしょうか。それは、あなたが私たちといっしょにおいでになって、私とあなたの民が、地上のすべての民と区別されることによるのではないのでしょうか。」 33:17 【主】はモーセに仰せられた。「あなたの言ったそのことも、わたしはしよう。あなたはわたしの心にかない、あなたを名ざして選び出したのだから。」 33:18 すると、モーセは言った。「どうか、あなたの栄光を私に見せてください。」 33:19 主は仰せられた。「わたし自身、わたしのあらゆる善をあなたの前に通らせ、【主】の名で、あなたの前に宣言しよう。わたしは、恵もうと思う者を恵み、あわれもうと思う者をあわれむ。」

3つの質問

今日みことばを学びながら、3つの質問を投げかけたいと思います。私がビジネス科の教授であることをご存じの方もいらっしゃると思いますが、今日皆さんと神のみことばを分かち合いながら尋ねる3つの質問は、講義で学生たちに尋ねる3つの質問と同じものです。つまり、何、なぜ、どのように、という問いです。

これらの質問を用いて、今日のみことばを解き明かしていきたいと思います。

Q1-何?

私たちは何について話しているのでしょうか。今日のみことばから神は私たちに何を伝えようとしておられるのでしょうか。私たちが何をもっと深く理解して日常生活に適用することを神は求めておられるのでしょうか。

人生の旅路にはいろんなことが起こります。神に従った偉大な指導者モーセのように、私たちにも心配事があります。モーセは、正直に自分の心配事を神に伝えました。神はモーセに優しく答えてくださいました。モーセのことを喜んでおられたからです。モーセが神に求めたことと神のモーセへの答えは、私たちの求めるものであるべきです。さきほど読んだみことばの中で、3つのことに焦点を当てたいと思います。

1. 神のご臨在(14節)-すると主は仰せられた。「わたし自身がいっしょに行って、あなたを休ませよう。」
2. 神の善良さ(19節)-わたしのあらゆる善をあなたの前に通らせ、
3. 神のあわれみ(19節)-わたしは、恵もうと思う者を恵み、あわれもうと思う者をあわれむ。

神のご臨在と善良さ、そしてあわれみはすべて、私たちの人生の旅路において、「良いこと」です。人生にはいろんなことが起こりますが、今日のメッセージでは、悪いことではなく良いことに重点を置きたいと思います。また、大きな出来事と小さな出来事についても考え、なぜこの聖書箇所が大切なのか、そしてどのように日常生活に当てはめればよいのかについて考えたいと思います。

では、「何」という質問については、私たちは神のご臨在、善良さ、あわれみに重点を置くことにしましょう。

ものごと	良いこと (*今日のメッセージの焦点)	悪いこと (今日のメッセージの焦点ではありません)
(何という問い-私たちは今日何について話しているのか?)	神のご臨在(14 節) 神の善良さ(19 節) 神のあわれみ (19 節)	神の不在 神の良くない点 神の赦しの欠如

Q2-なぜ?

なぜこれが大切なのでしょうか。神のご臨在と善良さ、そしてあわれみは本当に重要なのでしょうか。今からの 20 分あまり、集中して聞くべきなのはなぜでしょう。

ここに理由があります。

私たちの人生の旅路には、あらゆることが起こります。良いことも悪いことも含め、大きな出来事が起こることもあります。そのようなとき、とくにつらい時には、「なぜ私が」とか「神さま、今の状況をどうやって解決してくださるのですか」などといった疑問を持つかもしれません。しかし、ローマ 8:28 でパウロはこう語ります。

ロマ 8:28 「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」

このことを念頭に、今日の聖書箇所から、モーセは何を知っていたのか、私たちは何を知るべきなのかを、見ていきましょう。

1. **神のご臨在 (14 節)** は、偉大です。モーセが指導者として持っていた懸念や願望が 12 節に表されていますが、これに対する神の優しい答えが神のご臨在です。12 節で、モーセは主に言います。「あなたは私に、『この民を連れて上れ』と仰せになります。しかし、だれを私といっしょに遣わすかを知らせてくださいません。しかも、あなたご自身で、『わたしは、あなたを名ざして選び出した。あなたは特にわたしの心になんかっている』と仰せになりました。…」神のご臨在は、神の心になんかした人とともにあります。神をたたえて敬う人を、神は尊重してくださいます。モーセの心からの願いは、神をたたえ、神に栄光を帰することでした。これは、私たちも常に持つべき願いです。人生で良いことが起こるときも、悩みや課題があるときもです。モーセにとって、神のご臨在より大きなものはありませんでした。彼は、主よどうかともにていてくださいと叫び求めました。これは大きなこと

です。モーセは、神が導かれるところにはどこにでも神ご自身がともに行ってくださいることを求めました。私たちがそう願いたいものです。

2. **神の善良さ(19節)** – 私たちの人生にはつらいこともあります、神がともについてくだされば、神の善良さもともにあります。神ご自身より良いものはあるでしょうか。チョコレートでしょうか。野球でしょうか。神より良いものなどありません。善良さは神の変わらないご性質と品性を映します。神は遍在、全知全能のお方です。これは、聖書を信じるクリスチャンにとっては素晴らしいことです。神のご臨在を求め、神の善良さに浸ることは何にも勝ります。これ以上のものは求められません。19節で、主は「わたしのあらゆる善をあなたの前に通らせ」とおっしゃいました。私たちが神とともに人生の旅路を進んで行き、神のご臨在の中でのみ味わえる善良さを味わうように、神は私たちに招いてくださいます。
3. **神のあわれみ(19節)** – 19節で神はこう続けておられます。「わたしは、恵もうと思う者を恵み、あわれもうと思う者をあわれむ。」神は良いお方です。イエス・キリストを主であり救い主として告白し、主との絆を深めて成長する過程にある人は、神のあわれみをすでに知っているはずですが、また、神の善良さやご臨在も経験したことがあるはずですが、けれども、信じているのに神のご臨在を感じないというなら、神を第一に求めてみてください。必要があれば悔い改め、このお方があわれみ深く良い神であることを体験してください。イエス・キリストを主であり救い主として受け入れていないなら、神のあわれみと赦しを受け取る邪魔をしているものは何でしょうか。神のあわれみと赦しを受けるなら、私たちは神をさらによく知り、神のご臨在と善良さの中をいつも歩めるようになります。

けれども、なぜこれが大切なのでしょうか。14節の最後に、この問いの答えが簡潔に述べられています。

「わたし自身がいっしょに行って、あなたを休ませよう。」

<u>ものごと</u>	<u>良いこと</u> (*今日のメッセージの焦点)	<u>悪いこと</u> (今日のメッセージの焦点ではありません)
(何という問い-私たちは今日何について話しているのか?)	神のご臨在(14節) 神の善良さ(19節) 神のあわれみ(19節)	神の不在 神の良くない点 神の赦しの欠如
<u>大きなこと</u> (なぜという問い-なぜ大切なのか?)	神のご臨在+神の善良さ+神のあわれみ=安らぎ	神のご臨在と善良さ、そしてあわれみがない=安らぎがない

Q3 - どのように

神のご臨在と善良さ、そして神のあわれみがあれば、私たちは何を見出すことができるのでしょうか。安らぎです。誰でも安らぎがほしいし必要ではありませんか。

ではどのようにして得るのでしょうか。私たちが心から望む安らぎはどのようにして見つければよいのでしょうか。

いくつかの方法がありますが、ここで3つの提案をさせていただきます。

1. **神のみことばに (私の父)** - 神はみことばをとおして私たちに語りかけられます。神のみことばを読む時間を毎日取るなら、安らぎを見つけれられるようになると思います。



神のみことばに 安らぎを見出す

これは、私と父です。父が天の父のところに帰る前、最後に一緒に撮った写真です。父が亡くなる前、私は父の聖書をもらってもいいか尋ねました。父はそれを私のために残してくれました。父の聖書を読む時間は私にとって大きな祝福のひとつです。父が人生のあらゆる時代書きこんだメモや感想を読むのも楽しみです。私は、聖書を読むのが速いほうではありません。だいたい一日一章読みます。このスピードですと、聖書一冊読むのに3年かかります。でもそれでいいと思っています。聖書の中で一番長い章は詩篇 119 篇だと言われます。その詩篇 119 篇 105 節で、神のみことばはこう語ります。

「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。」

聖書を持っていて、より良い人間に変えられていきたいなら、聖書を少しでも読むことをお勧めします。一日一章でもいいのです。（より良い人間に変えられたくない、安らぎも欲しくない、というなら、また話は別です。）聖書は神の御声を私たちに聞かせてくれます。子育てや起業、就職など私たちの生活全般に関わりがあり、役に立ちます。神が聖書をとおして語られたので、これに耳を傾けるのが大切です。旅路で足元を照らしてくれる灯りのようであり、道を照らす光のようです。もう一度言いますが、神はみことばをとおして私たちに語りかけられます。私たちがみことばを読むなら、神は近くにおられます。神のみことばを読む時間の中に、安らぎを見つけましょう。

2. **祈りの中に (友人セニョー)** - 次に祈りです。天の父と日常的に語り合うなら、さらなる安らぎを得られると思います。それは、私たちが祈るときです。詩篇 136:1 のみことばはこう語ります。

【主】に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。

聖書は、神が良いお方だと言います。私にはセニョーというよい友人がいます。

彼は、私が勤める京都の学校の客員教授です。彼が日本に来るのはいつも私にとってよいタイミングです。それはたいてい私が相談相手や励ましを必要としているときです。あらゆる意味で、セニョーは私に対する神の善意と恵みです。数週間前、セニョーは私といっしょに教会に来たので、そのときに会った人もいるでしょう。セニョーは毎日朝早く起きて祈ります。たいてい午前4時ごろに起きて祈り、デボーションのときをもってから散歩して午前5時半には出勤します。セニョーは偉大な祈りの人です。今彼は、ガーナにクリスチャンスクールを設立しようとしています。誠実であわれみ深い、赦しの心を持った指導者をアフリカ大陸で育成することを目指した学校です。彼は自分の大きな夢を日々神にゆだねます。朝早くから一日をとおしてそうします。彼の名前はガーナの言語で「神はよいお方」という意味です。1月には、セニョーの62歳の誕生日をKIU（京都インターナショナルユニバーシティ）で祝うことができました。



祈りの中に安らぎを見出す

彼は、神が常に良いお方であることを思い出させてくれます。セニョーやモーセのように、祈りの時間を取りましょう。（OICでは礼拝後に会堂の後方LIFTで祈ってくれる人たちが待機しています。または、私といっしょに祈りたいなら声をかけてください。）祈りをとおして、日常の中に安らぎを見つけましょう。

3. 礼拝の中に (OIC) – めまぐるしい日常の中で、安らぎを見出す3つめの方法は、礼拝と交わりです。



礼拝と交わりの中に安らぎを見出す

私たちはそれぞれ性格も違いますし、信仰における習慣や経験も違うでしょう。しかし、神のみことばはマタイ 18:20 で次のように語ります。

「ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」

私たちが集まり、信徒同士でつながる機会を探すなら、私たちの人生は互いに豊かなものとされます。教会はたいていの場合、良いところです。できれば、スモールグループに参加したり、信徒同士で食事やお茶をいっしょにしたりするなら、安らぎをもたらす素晴らしい祝福となります。こういったことは小さなことですが、他の信徒たちとともに過ごす時間は、私たちの旅路にとって大切な一部です。礼拝や交わり、祈りの時間を日常的に取りましょう。たったひとりでも他の信徒とともに過ごすなら、神のご臨在の中にすぐ入れますし、互いに祝福されます。そして、安らぎを見出すこともできるでしょう。

安らぎを見出したいなら、日々神のみことばと親しみ、祈って神と語り合い、神のご臨在の中で他の信徒とともに過ごす時間を見つけることです。今日のメッセージのまとめに入りたいと思います。

ものごと	良いこと (*今日のメッセージの焦点)	悪いこと (今日のメッセージの焦点ではありません)
(何という問い-私たちは今日何について話しているのか?)	神のご臨在(14 節) 神の善良さ(19 節) 神のあわれみ (19 節)	神の不在 神の良くない点 神の赦しの欠如
大きなこと (なぜという問い-なぜ大切なのか?)	神のご臨在+神の善良さ+神のあわれみ=安らぎ	神のご臨在と善良さ、そしてあわれみがない=安らぎがない
小さなこと (どのようにという問い-私の人生にどのように当てはめるのか?)	神のみことばにさらなる安らぎがある 祈りの中にさらなる安らぎがある 礼拝の中にさらなる安らぎがある	みことばがなければ、安らぎが少ない 祈りがなければ、安らぎが少ない 礼拝がなければ、安らぎが少ない

まとめ

今日、私たちは、精神的な生き物としての人生の旅路について考えてきました。あらゆる意味で、私たちはひとつの人生から次の人生へと移る過程にあります。今日私たちは、モーセが深

く望んだ神のご臨在について考え、私たちの生活との接点を見出そうとしました。最後に、もうひとつだけ皆さんにお伝えします。

マタイの福音書で、一番大切な戒めは何かと弟子たちはイエスに尋ねました。これに対し、イエスはこのようにお答えになりました。

「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』 22:38 これがたいせつな第一の戒めです。 22:39 『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。 22:40 律法全体と預言者とが、この二つの戒めにかかっているのです。」

祈りましょう。

愛する天の父よ、

あなたは良いお方です。あなたは神であられます。あなたのご臨在をここに喜んでお迎えします。

私たちはモーセと同じで、あらゆる失敗をする不完全な者です。けれども、私たちが罪を悔い改めるなら、あなたはあわれみ深いお方ですから、すぐに赦してください。あなたは私たちのそばにいてくださいます。

今ここにいる私たちひとりひとりが、あなたとともにいることを求めることができるように助けてください。この人生の旅路の中で、モーセと同じく私たちも導く者であると同時に従う者です。家庭や職場、教会、そして関西の地域社会で、どちらの立場にもなり得ます。

あなたが私たちをどこに送られても、導く者であっても、従う者であっても、あなたのご臨在がいつも私たちとともにあってください。そうでなければ、導く者としても従う者としても出ていくことはできません。私たちひとりひとりがあなたを信頼し、あなたの召しに従うことができるよう、一生助けてください。

イエスの尊い御名により、アーメン。

神のご臨在、モーセの願い、そして私たちの旅路 (出エジプト記 33:12-19)

大阪インターナショナルチャーチ

メッセージ概要とメモ

2015年2月1日

<p>ものごと</p> <p>(何という問い-私たちは今日何について話しているのか?)</p>	<p>良いこと (*今日のメッセージの焦点)</p> <p>神の _____ (14 節)</p> <p>神の _____ (19 節)</p> <p>神の _____ (19 節)</p>	<p>悪いこと (今日のメッセージの焦点ではありません)</p>
<p>大きなこと</p> <p>(なぜという問い-なぜ大切なのか?)</p>	<p>神の _____ +神の _____ +神の _____ = _____</p> <p>(神のご臨在と善良さ、そしてあわれみがない=安らぎがない)</p>	
<p>小さなこと</p> <p>(どのようにという問い-私の人生にどのように当てはめるのか?)</p>	<p>神の _____ にさらなる安らぎを見出す</p> <p>_____ にさらなる安らぎを見出す</p> <p>_____ にさらなる安らぎを見出す</p>	

メモ